

ワクチン 全年齢予約9月8日から

保育入所オンライン相談・オート蛇口など非接触の取り組みも

市は、新型コロナワクチンの12歳から39歳の予約を9月8日からスタートさせる。国や府などの大規模接種会場での接種を含め、現在、市内の12歳以上の9月2日時点の接種状況は、1回目54.6%、2回目41.5%。働く世代や学生が接種しやすいよう、100か所を超える医療機関での個別接種のほか、集団接種会場2カ所を土日に運営。11月までに接種を希望する全ての人に接種を受けていただけるよう引き続き取り組みを進めていく。

また、9月10日からは妊娠中の人や市外から転入予定の人に向け、保育所の入所相談をビデオ通話でできるようにし、来所の負担を軽減する。

市ではこれまでも学校園などでの集団感染の防止のため、抗原検査キットの配布などを行っているが、非接触で安心して手洗いができるよう市内全学校園の蛇口の一部をオート水栓に切り替えるほか、共用のおもちゃや絵本などを素早く殺菌する殺菌庫を希望する保育所(園)・幼稚園等へ配布するなど、さらなる感染防止の取り組みを進める。

★市内の感染者状況等

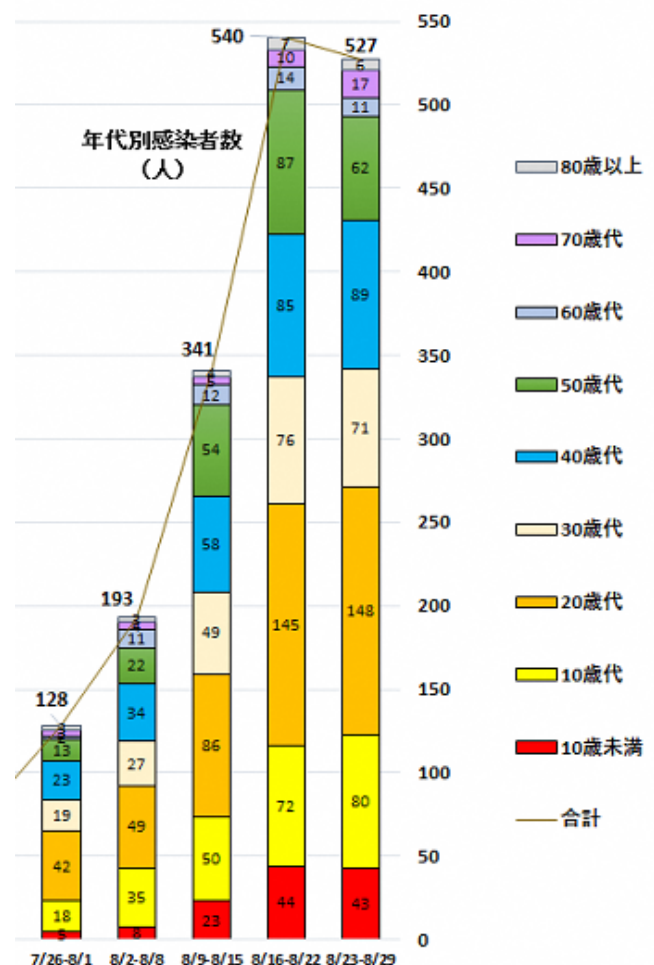
●市内感染者の状況 (9月1日時点)

感染者累計	5 4 2 1
現在療養者数	7 2 2 (内重症 8)
退院・解除累計	4 5 9 9
死亡累計	1 0 0

●感染者数の推移 (8月29日時点)

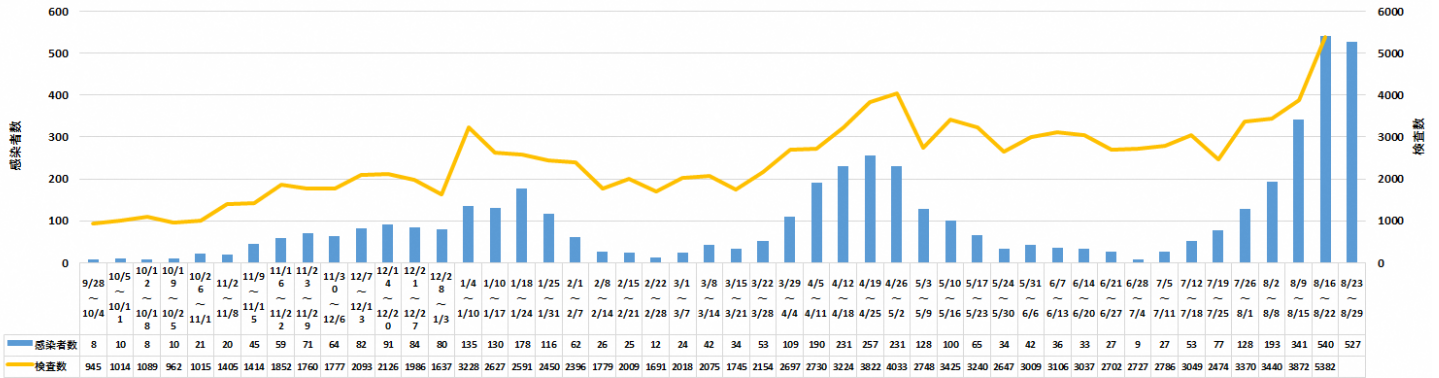
第5波では、20代の感染が最も多く、40歳代、50歳代が続いている。

感染経路別では、完成経路不明が最も多く、感染者家族、その他が続く。



●市内検査数と感染者数の推移

枚方市 検査数と感染者数の推移（令和2年9月28日～令和3年8月29日）

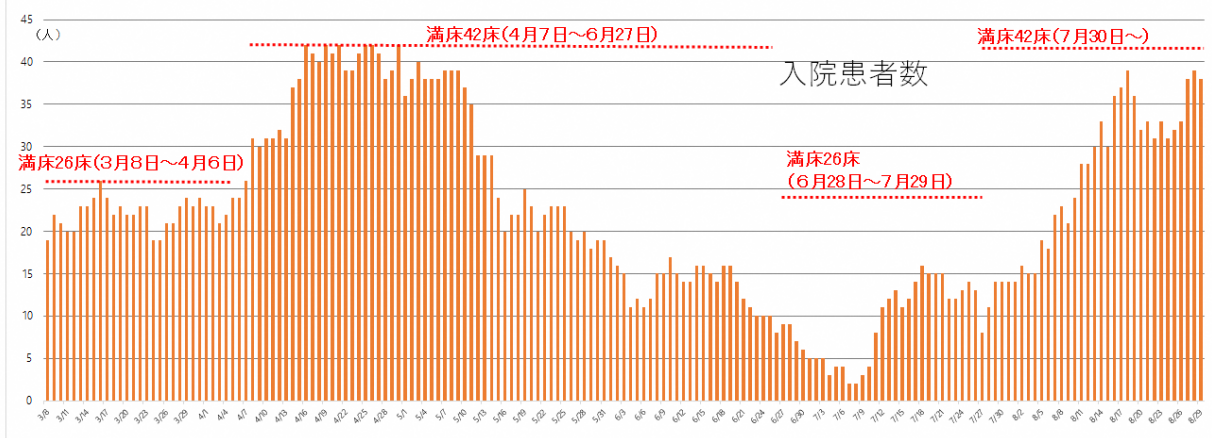


【注】感染者数は、大阪府の発表を基に記載しています。また、「検査数」については、後日変更する場合があります。また、空欄は集計中となります。
 ※11月16日以降は、大阪府の公表変更に伴い、新規検査数から再検査数等を含むに変更。また感染者数は、再陽性者数を含むに変更されています。
 また、令和3年2月22日実施の大阪府の公表データ修正に対応しています。

●市立ひらかた病院コロナ対応病床の使用状況（8月29日時点）

第5波により病床を再度42床に増やし対応中。29日時点での病床使用率は90%。

市立ひらかた病院コロナ対応病床(軽症・中等症患者の入院受け入れ)の使用状況（令和3年3月8日～8月29日）



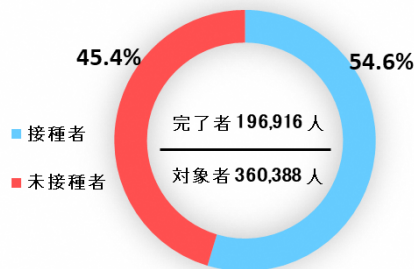
※大阪府フォローアップセンターによる調整を経て府内の患者が入院。
 ※対応病床数は感染拡大のフェーズに応じ府からの要請に基づいて7月30日以降42床(陽性患者38床、疑似症患者4床)を確保。

★ワクチン接種状況

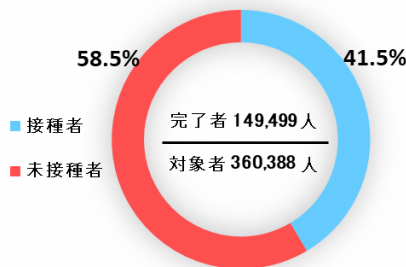
★市内対象者は12歳以上で約36万388人。接種会場は集団接種2カ所と医療機関138カ所。

★市内の接種実績（8月30日時点）

1回目完了



2回目完了



65歳以上の高齢者への接種率
 完了者 102,936 人 = 90.5%
 対象者 113,705 人

65歳以上の高齢者への接種率
 完了者 98,643 人 = 86.8%
 対象者 113,705 人

★妊婦・子どもたちも安心できる接種体制

★妊婦対応可能医療機関（8月27日予約開始）

138カ所中73か所（うち一般受付28 かかりつけ45）

★小児（12～15歳）対応可能医療機関（9月8日予約開始）

138カ所中76か所（うち一般受付29 かかりつけ47）

★非接触の取り組みを拡充

◆オンラインによる保育入所相談を開始

市の保育所の利用を希望する場合、申請前に保育コンシェルジュ（窓口担当職員）に相談しようとして妊娠中に窓口に来所する人も多い。新型コロナウイルスの感染が拡大している中、来所負担を軽減するため、家にいながらビデオ通話で入所に関する相談をできるようにするもの。妊娠中でなくとも、来所が難しい市外から転入予定の人も対象とする。

運用開始は9月10日（金）。9月3日（金）から週3枠程度の予約を受け付け、今後の利用状況により対象や予約枠の拡大を図っていく。

◆学校園等での集団感染予防 自動水栓蛇口の設置/おもちゃ等用殺菌庫

小・中学校、幼稚園及び保育所等における感染症対策のため、既設の手動水栓から自動水栓への切り替えを行う。（補正予算額：66,870千円）

中学校	小学校	公・私幼稚園	公・私保育園、認定こども園等
380個	900個	162個	787個

保育所（園）、幼稚園等各施設において、感染防止対策をより一層強化することを目的におもちゃなど共同で使うものを殺菌する殺菌庫を購入し、希望施設へ配布（97台購入予定）。

また、消毒作業など、保育士の負担軽減にも繋がる。

◆6月から配布中の抗原検査キットが活躍中

市では、6月から市内保育所等に抗原検査キット9200個を配布しており、少し心配な症状が出た場合などに早期に活用することで保育現場におけるクラスターの未然防止や不安解消に役立っている。第5波で就学前児の感染も増加していることなどから、今後、各施設のニーズ等に合わせて追加購入等の検討を行う。

★応援基金への寄付状況

今後の継続的な支援を進めるため、寄付を財源とする「枚方市新型コロナウイルス感染症対策応援基金」を令和2年5月15日に設立。寄付金を広く募っている。8月31日時点での申込は884件（個人848件、団体36件）で合計4088万3103円。

<問い合わせ先>

(新型コロナウイルス全般) 危機管理室 電話 072-841-1270、FAX072-841-3092

(ワクチン接種) ワクチン接種対策室 電話 072-841-1221 代、FAX072-840-4496

(応援基金) 健康福祉総務課 電話 072-841-1228、FAX072-841-3039

(保育入所オンライン相談) 保育幼稚園入園課 電話 072-841-1472 FAX072-841-4319

(学校園での集団感染予防) 私立保育幼稚園課 電話 072-841-1471 FAX072-841-4319

公立保育幼稚園課 電話 072-841-1473 FAX072-841-4319

新しい学校推進室 電話 050-7105-8020 FAX072-851-1711

(抗原検査キット配布) 私立保育幼稚園課 電話 072-841-1471 FAX072-841-4319

公立保育幼稚園課 電話 072-841-1473 FAX072-841-4319